

令和8年5月

県立石岡第二高等学校長

学校における不祥事根絶に向けた取組の徹底について

～不祥事根絶のための校内ルール～

今般、県内では、教職員による不祥事が続いており、学校教育に対する信頼が失墜したと言っても過言ではない、極めて深刻な事態となっております。

本校においては従来、不祥事防止に向けた取組の徹底に努めており、教職員全員がコンプライアンスを常に意識しながら、日々の教育活動に専心しています。

しかし、県内において不祥事根絶に至らない現状を自分事として捉え、本校から不祥事を絶対に生じさせないため、また、生徒、保護者、地域から信頼される教職員であり続けるために、下記のとおり校内ルールを定め、教育に携わる者であることの自覚をもって行動することとします。

記

1 生徒の個別指導に関すること

- できる限り複数人で対応する。また、入り口の扉を開けておくなど、密室状態をつくらない。指導上やむを得ない場合には、事前に学年主任等へ対象生徒・場所・時間等を知らせ、事後に結果を報告する。
- 体罰は絶対に許されない。また、セクハラ、パワハラ等につながらないよう言動に注意する。
- 電話、メール、SNS 等による私的なやりとりはしない。

2 個人情報の取扱い等に関すること

- 本校の定める「生徒等に関する個人情報の取扱規程」を遵守し、個人情報は原則持ち出さない。事務処理上の必要性からやむを得ず持ち出す必要がある場合には、「情報資産帯出管理簿」に必要事項を記入し、校長・教頭の許可を得る。
- 生徒の考査答案を持ち出す場合には、「定期・実力考査等答案帯出願」に必要事項を記入し、校長・教頭の許可を得る。
- 席を離れる際には、P Cの画面をロックする。

○ 外部の複数人にメールを送る場合にはB C Cを使う。また、誤送信を防ぐために、送信前にメールアドレス及び添付ファイルの中身（個人情報が含まれていないか）を複数職員で確認する。

○ Google フォームを使って個人情報が含まれる回答をさせる際は必ず、「結果の概要を表示する」設定が「OFF」になっていることを複数職員で確認する。